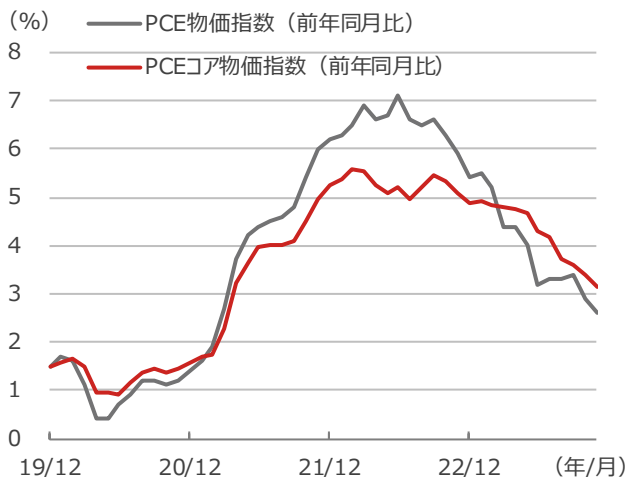


米インフレ減速で早期利下げ期待高まる

ポイント① 米PCE物価指数は減速

これまでの累積的な利上げの影響を背景に、今月中旬に発表された11月の米CPI（消費者物価指数）の伸びが前年同月比で減速したことに加え、22日に発表された11月の米PCE（個人消費支出）物価指数も前年同月比+2.6%とインフレ減速が続いていることが確認されました。また、FRB（米連邦準備制度理事会）が金融政策を運営する上で重視している米PCEコア物価指数も同+3.2%と減速が続いています（右上図）。

米PCE物価指数

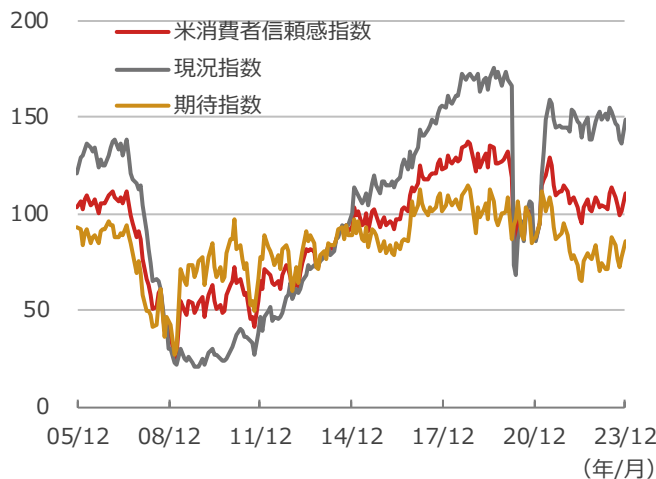


期間：2019年12月～2023年11月、月次
(出所) Bloombergより野村アセットマネジメント作成

ポイント② 米消費者信頼感指数は上昇

12月の米コンファレンスボード消費者信頼感指数は110.7と市場予想（104.5）を上回り、足元の米消費者マインドが持ち直していることが確認されました。労働市場などに対する消費者の予想が改善していることやインフレが減速していることが背景にあるとみられます。現況指数は148.5と6か月ぶりに上昇し、今後6か月の見通しを反映する期待指数も85.6と2か月連続で上昇しました（右下図）。また、インフレ減速が観測されるなか、1年先の期待インフレ率は11月の5.7%から5.6%に低下しました。

米コンファレンスボード消費者信頼感指数



期間：2005年12月～2023年12月、月次
(出所) Bloombergより野村アセットマネジメント作成

ポイント③ 米景気後退リスクが出始める

インフレが着実に減速していることが確認され、足元の米消費者のマインドは改善しています。一方、米国では先行きの売上見通しの下方修正や大規模なリストラを発表する企業が出始めるなど、景気後退リスクも警戒され始めています。インフレ減速と景気後退リスクへの警戒など、市場では来年3月での早期利下げ期待が高まっています。引き続き米国のインフレや景気動向に注視していく必要があります。

重要イベント
1月5日 米雇用統計（12月）
1月11日 米CPI（12月）